

会 議 録

会 議 名 平成 26 年度 第 3 回 社会教育委員会

開催日時 平成 27 年 3 月 16 日（月）午前 9 時 30 分から 11 時 40 分まで

開催場所 東浦町文化センター 2 階 視聴覚室

出席者 社会教育委員 川澄知里、石原弘幸、鈴木万里子、田頭美紗子、松下玲子、
天野圭二、中村建志郎、久米 弘、平井伸幸、神谷真由美、
事務局 教育長、教育部長、生涯学習課長、中央図書館長、
スポーツ課長、生涯学習課長補佐、
郷土資料館課長補佐兼係長、生涯学習指導員

欠 席 者 中村浩二委員

議 題 1 平成 27 年度東海北陸社会教育研究大会における東浦発表内容について
2 平成 26 年度教育部予算について
3 その他

傍 聴 者 なし

審議内容

生涯学習課長

次第に従い会を進める。挨拶をいただく。

委員長

他地区の社会教育委員との情報交換では、社会教育委員の認知度が低いこと、その確かな解決策が見当たらないことがよく話題になる。本町でも委員として共に考えていきたい課題である。東海北陸大会での発表にむけ、実り多い話し合いを願う。

教育長

東海北陸大会では立派な発表になることを願う。過日、本町中学校卒業生の作文が新聞で紹介された。小論文の学習をする中で一人の力では解決できないことも二人三人で取り組むと解決できるという当たり前のことに気が付いたというものである。手をつなぎ、社会参加し、つながって問題解決することの大切さの気づきである。社会教育委員の役割は、こうしたつながりを支えるという点にあるのではないか。

委員長 次第に従い、議事を進める。第 1 号議案について事務局から説明を求める。

事務局 議事資料を説明。

〔質疑・意見交換〕

委員長

発表時間等、大会での分科会運営について説明。委員全員の取り組みの掲載はできないが、東浦町社会教育委員の総意として発表したい。多くの意見を願う。

委員

虫供養・祭礼行事は行事の紹介だけでなく、絆つくりとの関連を加筆したい。さらに、絆つくりの概念をもう少し明確にしたい。

委員長

社会教育委員は、本来は地区公民館を拠点にして公民館活動に参画し、住民と関わることが大切。これからも、コミュニティや公民館から求めを受ければ委員として進んで参画したい。本文は、絆つくりに関連させ、さらに整理したい。

委員

石川大会では地元の活動が発表に入っており伝統的な地域活動は社会教育の範疇である。虫供養は誇りに思える大切な伝統行事であり、祭礼行事も特色ある伝統行事

である。なお、祭礼行事では、担い手不足もあり継承が課題の1つになっている。

委員

町の概要では、孤立化を外国籍の人だけと結びつけるのはいかがか。高齢者にも該当するのではないか。外国籍の人と於大まつりとの関連はあるか。

委員長

外国籍の子が於大姫で参加したこともあり、開かれたまつりになっている。

教育長

社会教育は幅が広いため、発表には難しさが伴い、内容も総花的にならざるを得ない。発表案の作成は、最終的には委員長・事務局に一任して進めてはどうか。

委員

紀要では字数が限られており、組み立てがしっかりしていることが大切。案では於大まつり関連記述はよく練られていて分かりやすい。課題と成果では、解決に向けた提言も入れてはどうか。一例として、地域活動の課題を関係者が集まり話し合う地域円卓会議の開催はどうか。

委員長

貴重な意見に感謝したい。さらに多くの委員に意見をいただきたい。

委員

大会参加者は自分の地域に参考となる活動に関心があるから、虫供養など歴史的な記述は簡略化または町の概要に含めてはどうか。

委員

手短で分かりやすい文にし、東浦町への理解を深めてもらうことは大切である。

委員

転入者は地元の行事に参加しづらいため、誰でも参加でき共に創りあげる中で一体感を味わうことができる町全体のまつりが希求されたのではないか。また、始まった背景には、行政主導だけではなく、実行委員会式的に関わりたい人の存在もあったのではないか。始まった背景はさらに詳しく記述したい。

委員

虫供養は、大切な行事と考えるからこそ、各地区は負担は大きいが懸命に支えている。その必死な思いは伝えたい。また、祭礼行事もお囃子などの人手不足が深刻であるだけに継承に向けて、学校の協力を得ながら、小・中学生の参加を促している。

委員

於大まつり誕生の頃に転入者が急増しているのであれば、誕生の背景に加えたい。

委員

課題にあるように、委員が話し合う場や機会が増えることはよいことである。予算にも限りがあるので、インターネットでの情報交換等も考えてはどうか。

委員

案を通して東浦町のことがよく分かった。於大まつりへの参加者や参加団体の数的な変化を示すことができれば他地区の人に分かりやすい。

委員

転入者にとっては、於大まつりは参加しやすく発表の機会も与えられるので参加意欲は高い。さらに於大まつりに参加した感動をもとにして地元の行事への参加意欲を高めることも考えられる。

委員長

発表では時間や紙面の制限はあるが、別資料を配付したり、質疑を通して追加説明

したりすることはできる。

委員

案はよくまとまっている。自分自身はまちづくり活動にかかわることで、これこそ社会教育委員の活動だと気づきを得たのでその思いを伝えたく原稿を寄稿した。

委員長

本日の意見を踏まえて原稿は作成していくこととし、第1号議案審議は終わる。第2号議案「平成27年度教育部予算について」について、事務局から説明を求める。

事務局

生涯学習課、図書館、スポーツ課の順で、配付資料に基づき概要を説明。

〔質疑・意見交換〕

委員

公民館からコミュニティセンターへの名称変更の経緯及び、それに伴う活動内容の変化について伺いたい。

事務局

住民に親しみやすい名称として名称変更がされた。活動内容には大きな変更はない。

委員

名称変更に伴い指定管理者制度が始まった結果、住民が利用しにくくなった他市の例があるので心配したが、説明を聞いて安心した。

委員長

東浦町では新しい取り組みも多くすばらしい。住民への活動PRも、各種メディアを通して積極的に行ってほしい。以上で第2号議案審議は終わる。

委員長

第3号議案「その他」について、予定なしを確認し、議事の終了を宣告。

生涯学習課長

平成27年度第1回委員会は平成27年5月28日(木)午前開催を連絡し、午前11時40分に閉会を宣告。

備考 なし